**Task 1を徹底攻略**

Task 1はグラフや図表を分150ワード以上で描写するエッセイです。攻略のポイントは**分析力（Analytical skills）**の向上で、データの変化や特徴を正確に描写することが重要です。つまり**誤った分析や、数値の読み違えをしてしまうと、文法や語彙がいくら正しくても高いスコアを取ることは不可能**です。この「分析＋描写スキル」は留学後も必要になるので、是非Task １のトレーニングを通して土台を固めておきましょう。Task1は大きく分けて次の2種類の問題パターンが出題されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **問題タイプ** | **出題率** | **概要** |
| **グラフ**  **（Graph）** | **約85%** | **Line graph（線グラフ）**、**Bar [graph / chart]（棒グラフ）**、**Pie chart（円グラフ）**、**Table（表）**の4種と、これらのいずれかが複数で出題される**混合タイプ**を足した合計5種類で、数値（の変化）を比較・分析し描写します。 |
| **図表**  **（Diagram）** | **約15%** | 町や都市の過去と現在の変化や、部屋や建物の改修前後のレイアウトの変化を描写する**Map diagramタイプ**と、製造や加工の工程や、動植物の成長過程を描写する**Process diagramタイプ**があり、変化や工程を描写します。 |

この分析からわかるように、**出題頻度の高い①のグラフ問題を中心に対策を行う**ことが効率的な対策です。例えば6回受検したとすると5回はグラフ問題、1回は図表問題がおおよその出題率です。各問題タイプについては後ほど詳しく取り上げますが、まず始めに**採点基準表（Band descriptors）をもとにした**Task 1における4つの採点項目を確認しておきましょう。

|  |
| --- |
| ・ **Task achievement**（タスクの達成度） :　描写の正確な分析と描写。  ・ **Coherence and cohesion**（一貫性と意味上の結束）： エッセイ全体と文の構成  ・ **Lexical resource** （語彙の運用力）： 語彙の正確性、運用力。  ・ **Grammatical range and accurac**y（文法）： 文法の幅広い運用力と正確性。 |

**Task 1スコアアップ重要チェックポイント**

|  |
| --- |
| **1. Overview（全体の概要）が書けているか**  👉 これがないと**Task achievement（タスクの達成度）**は5.0止まりとなります。  **2. パラグラフ構成が適切でOrganised（まとまっている）されているか。**  **👉** 情報ごとにパラグラフが整理されているかが重要です。  **3. 数値の描写に誤りがないか（グラフ問題の場合）**  👉 数値の読み違えは大きな減点につながるので慎重に描写しましょう。  **4. 比較できているか（グラフ問題の場合）**  👉 単体で描写するのではなく関連性のある箇所を比較することが重要です。  **5. 各問題パターンに適した表現を正確に運用できているか**  👉 グラフ問題、マップ問題特有の表現を使うことが大切です。 |

**Task 1必勝攻略法はこれだ！**

**★ 必勝攻略法 ① － 24分間を目安に仕上げること！**

問題用紙にはYou should spend about 20 minutes on this task.（20分間で仕上げるとよいでしょう）という指示文がありますがこれに惑わされてはいけません。多くの受験者は20分で仕上げようとして、時間が足りずにTask 1を中途半端に仕上げてしまう傾向にあります。あせって数値の認識、表記ミスをしてしまうと大きくスコアに響くので、まずはTask 1を軽視せずミスなく書き上げることを念頭に置いて取り組みましょう！

**★ 必勝攻略法 ② － Overviewを重視せよ！**

Overviewとは「全体の概要」を指しTask 1攻略に必須の項目で、Overviewなくして採点基準の一つである**Task achievement（タスクの達成度）の採点項目で6.0以上を取ることは不可能です**。ではグラフを用いてOverviewの解説を行っていきましょう。

**The graph below shows the sales data of five insurance companies from 1997 to 2017.**

（次のグラフは1997～2017年までの5つの保険会社の売上高を表している）

ではこのグラフの大まかな特徴（Overview）は何でしょうか？まずCompany Aが20年間常に売り上げがトップとなっていますね。次に1997年から2017年の20年間の変化を比較すると、Company A, Company C, Company Eが上昇、Company B, Company Dが減少していますね。ということでこれらを描写すると次のようになります。

|  |
| --- |
| **Overall,** Company A had the highest sales volume for the twenty-year period. While Company A, Company C and　Company E showed an upward trend, Company B and Company D saw a decrease in the sales.  （概要として、A社が20年の間で最高益を挙げた。A社、C社、E社は売り上げが上昇傾向だったが、B社とD社は売り上げが減少した） |

\*sales volume 売上高 　　　\*show an upward trend 上昇傾向を示す

このようにイントロで概要を示すことがTask 1の理想の書き方です。では最後にその他の重要な2点を確認しておきましょう！

① 「**細かな数値（詳細）を入れないこと（**ただし年代、月は入れることは可）」

👉 詳細な数値描写はボディパラグラフで行います。

② 「**Overallで書き始めること**」

👉 こうすることで、読み手に「概要を示しますよ」という目印（Signposting）となります。

★ **必勝攻略法　③ － Overviewはイントロで書くこと！**

Overviewは必ず**イントロで書く**ように心がけましょう。最後の段落でも構いませんが、時間が足りずにOverviewが書けなくなってしまう可能性があります。イントロの1文目で問題文を言い替え、2文目に書きましょう（イントロの書き方については後で詳しく扱います）。また、Task 2とは異なり、**Conclusion（結論文）は不要で、**採点基準表にもConclusionに関する記述はありません**。OverviewとConclusionは**少し異なりますので、最後にその違いをチェックしておきましょう！

**・ Overview**－ **「概要」**を意味し、**全体の特徴**を表します。

**・ Conclusion**－**「要約」**を意味し、全体の情報を短くまとめた**結論文**を指します。

**★ 必勝攻略法 ④ －比較・対照をすること！**

Task 1の**Task Achievement（タスクの達成度）**を高めるための鍵として**「比較・対照の精度を高めること」**が挙げられ（一部のDiagram問題を除く）、問題の指示文には毎回**make comparisons where relevant.「関連性のある個所を比較せよ」**という文言があります。つまり特徴を単体で描写するのではなく、「Aは～だが、一方Bは・・・」、また、「AはB、Cに比べて3倍上昇した」のように描写することが重要ですので、毎回比較・対照を意識しながら描写するように心がけましょう！

**★ 必勝攻略法 ⑤ － 個人的な意見を述べる必要はなし！**

Task 1ですべきことは与えられたデータや情報の「**客観的な分析とその正確な描写」**ですので、「～だと思う」や「～が原因だろう」、「この先は～だろう」などの**主観的な見解は不要です**。また、**表や図にない情報も書いてはいけません**。

**● 必勝攻略法 ⑥ － 数値表記の3のルールをマスター！**

次に紹介する一定の数値表記のルールと記号はマスターしておきましょう。

・ **ルール1**: １0以下はスペルアウトし、それ以上は数値で書く。

例) There are [✖6 / **〇** six] people in my family.

・ **ルール2:** 文頭の数値は英語で書く。

例) [✖ 250 / **〇** Two hundred fifty] people will attend the meeting

・ **ルール3**: ％の前は通常数値で書く（10未満も同様）

例) ✖ eight % of students → 〇 8% of students

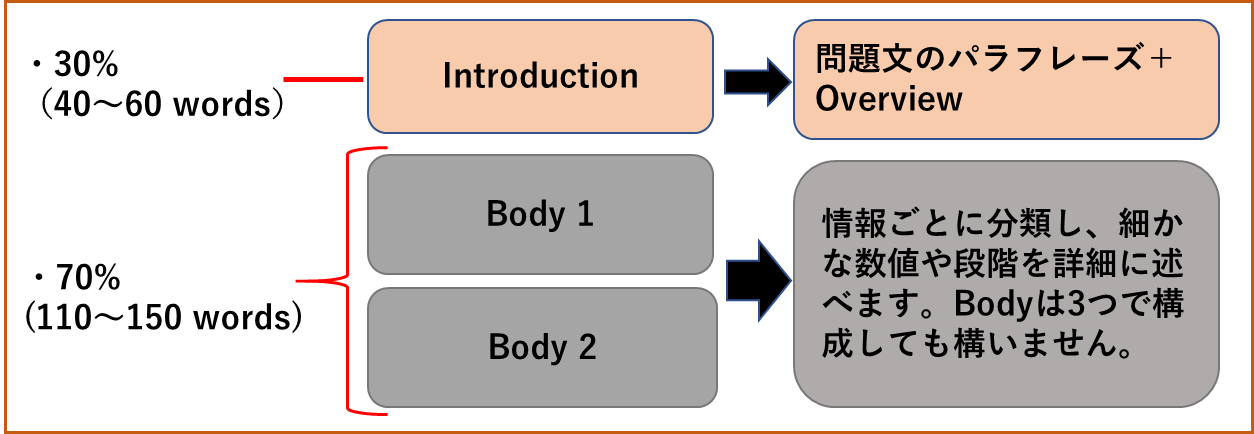
・ その他： 次の語は記号で書きましょう。

dollar →＄/ pond→ £ / euro → € / ton → t / kilogram → kg

以上でTask 1の概要と主な攻略法に関するレクチャーは終了です。曖昧な部分もいくつかあると思いますが、少しずつ具体的にレクチャーを行っていきますので心配ご無用です。では最後にTask 1のエッセイの構成をチェックしておきましょう！

**エッセイの構成をマスターしよう！**

次の表は理想的なTask 1の全体の構成とワード数のバランスです。



この分量の感覚をつかむまで少し時間がかかりますが、普段から意識して書き進めることで効率よくスコアアップにつながりますので、少しずつ体得していきましょう！

これでTask 1の全ての問題パターンに共通する基礎となるレクチャーは終了です。お疲れさまでした。ここからは各エッセイパターン別に分けて解説を行っていきます。まずはTask 1攻略の鍵となる「グラフ問題」からです。それではまいりましょう！

**Map問題必須表現・攻略法を完全マスター！**

ここからはスコアアップに直結する**「必須表現」**と**「文法項目」**をStepごとにマスターしていきます。運用力を高めるコツは暗記するのではなく、問題を解きながら必要に応じて使うことで、それにより定着が早くなります。それでは早速まいりましょう！

**Step 1 ： 「数・量」と「割合」を表す表現をマスター！**

|  |
| --- |
| **「数」 ：　the number of ~ （可算名詞：数えられる名詞:** car, studentなど）  **「量」:　 the amount of ~ （不可算名詞：数えられない名詞**：water, moneyなど）  **「割合」： the [percentage / proportion] of ~ （名詞）**  **「その他」： the figure for ~ （名詞）⇒ 「数」、「量」、「割合」全てに使用可能。** |

いくつかの例文で使い方を確認しておきましょう。

例1) The pie charts compare **the proportion of** female workers at five different companies.

例2) According to the graph, **the number of** foreign tourists greatly increased in the 1980s.

例3) There was a significant drop in **the figure for** the total traffic volume from 2001 to 2008.

**Step 2： 「増減」と「程度」を表す表現をマスター！**

グラフ問題は**「増減の変化」**の描写が基本です。以下の6つの増減を表す語彙を完璧にマスターしておきましょう。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **特徴** | **表現** |  | **特徴** | **表現** |
| **増**  **加** |  | ・ increase / rise / grow  ・ an increase /a rise / a growth | **減**  **少** |  | **・** decrease / fall / decline  **・** a decrease / a fall / a decline |
| **停**  **滞** |  | ・remain [unchanged / static]  ・experience a period of stability | **変**  **動** |  | **・**fluctuate / vary  ・experience fluctuations |
| **最**  **高** |  | ・peak at / reach a peak **of** 数値  ・reach the highest point **at** 数値 | **最**  **低** |  | **・** hit the lowest point at 数値  **・** fall to the bottom at　数値 |

これらの表現は次の**形容詞や副詞と合わせて**運用します。つまり、単に「増えた」、「減った」と描写するのではなく**どの程度、どれだけの幅**で変化があったかを表現することが重要です。では早速重要表現をチェックしておきましょう。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **大幅** | **わずか** | **急激** | **一定** |
| **形容詞** | significant / considerable | slight/modest/small | rapid/sharp | steady/constant |
| **副詞** | significantly/considerably | slightly/somewhat | rapidly/sharply | steadily/constantly |

また**「近似」**を表す次の表現を運用し、さらに数値描写の精度を高めましょう。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **おおよそ** | around / roughly / approximately | **～に近い** | almost / nearly / virtually |
| **～より多い** | more than / over / above | **～より低い** | less than / under / below |

**Step 3：グラフ問題必勝フォーマット4パターンをマスター！**

文法項目でのスコアアップのポイントは語彙同様に**表現にバラエティをつけること**で複雑な構文（倒置など）を使う必要は一切ありません。ここではスコアアップにつながる**4つの必勝フォーマット**をマスターしておきましょう。この公式はここまで紹介した表現を組み合わせて運用します。「2012年に訪日外国人観光客が大幅に増えた」という日本語をもとに4つの公式を用いて表現していきます。

|  |
| --- |
| **★ 公式 ① 👉 単位を主語にした形**  **The [number /amount / percentage / proportion] of ～ ＋ [副詞 ＋ 動詞]\***  例) **The number of tourists** visiting Japan **significantly increased** in 2012.  **★公式 ② 👉 There is 構文を使った形**  **There is [形容詞＋名詞] in the [number / amount /percentage / proportion] of ～.**  **例) There was a significant increase in the number of** tourists visiting Japan in 2012.  **★公式 ③ 👉 動詞 experience / seeを用いた形**  **主語＋[see / experience]＋[形容詞＋名詞] in the [number / amount / percentage / proportion] of ～.**  **例)** Japan **[saw / experienced] a significant increase in the number of** tourists in 2012.  **★公式 ④ 👉 can be seenを用いた形**  **[形容詞＋名詞] can be seen in the in the [number / amount / percentage / proportion] of ～.**  例) **A significant increase can be seen in the number of** tourists visiting Japan in 2012. |

\*は[動詞＋副詞]も副詞を対比・強調する場合は可。

**Step 4. 「構成」を描写する表現をマスター！**

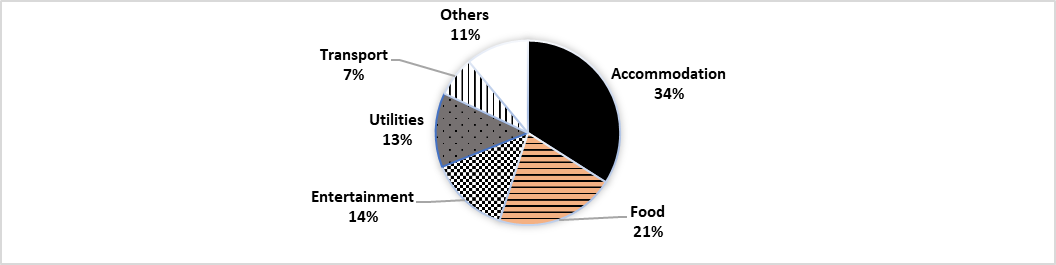
次は「構成（・・・は～％を占めている）」を描写するための表現をマスターしておきましょう。先ほど学習した「割合」の表現を用いて次のような公式で表現します。

|  |
| --- |
| **〇主語＋[account for / comprise / constitute / represent]＋次の①～③のいずれか**  **① 数値（～%）　 　② the majority\* of ~ / a half of / a quarter of / two-thirds of など**  **③ a [large / high] of またはthe [highest / largest][proportion / percentage / share] of** |

\* majorityは**半分を超える場合に用い（51%以上）**、強調する場合はthe **vast** majority of ~（目安として70%以上）のように形容詞を付けより明確に表現しましょう。

それではPie chartを用いていくつか描写してみましょう。

例) **The chart shows the proportion of expenses that college students spend in a month.**



それではまずAccommodation（住居費）でいくつか文を作ってみます。

① Accommodation **accounts for 34%** of the total expenses.

② Accommodation **constitutes roughly a third** of the total expenses.（約3分の１）

③ Accommodation **comprises the largest share** of the total expenses. （最大の割合）

この3文は同じなようを表していますが、異なる表現を用いることで文にバラエティをつけています。次はその他のカテゴリーも加えて描写していきます。

④ Food **accounts for slightly over one fifth** of the total expenses. （5分の1よりやや上）

⑤ Accommodation and food combined **comprise the majority** of the total expenses.

（大部分） \*A and B combined AとBを足して

⑥ Entertainment and utilities **represent similar proportions**, 14% and 13% **respectively.**

\*respectively それぞれに

このように語彙にバラエティをつけることで語彙スコアのアップにつながるので、普段から様々な表現を運用できるようにトレーニングに励みましょう！

**Step 5. 倍数、比較・対象表現を完全マスター！**

必勝攻略法で**「比較・対照」**の重要性と、「変化あり」、「変化なし」バージョンのグラフについての違いを説明しましたが、「変化なし」タイプの場合、**倍数、比較・対照表現が使えないと描写することは不可能**です。ここでは変化なしタイプのグラフ攻略に不可欠な「倍数表現」と「比較・対照表現」の2つを集中的にマスターしていきましょう！

**① 倍数表現はこの3つを運用しよう！**

**● 数値を用いた比較級表現**

[倍数＋比較級＋than＋名詞]の形で用います。倍数の箇所には**整数＋times**（2倍の場合のみtwice）と分数が来る場合があります。

例) Industrial water consumption is **three times higher than** that of agriculture in 2005.

次に分数の表し方は通常、**数詞（分子）＋序数（分母）**で表します。注意点は**数詞が2以上になると序数を複数形にすること**です。次の一覧で確認しておきましょう。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **2分の1** | **3分の1** | **3分の2** | **4分の1** | **4分の3** |
| a half | [a / one] third | two third**s** | [a / one] quarter | three quarter**s** |

例) In 2001, roughly **two thirds** of the total visitors to Europe were from Asian countries.

（2001年のヨーロッパを訪れた人の総数の約3分の2はアジア諸国からであった）

**● 動詞を用いた表現**

次は動詞を使い分けて表現の幅を広げましょう！

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **半分** | halve | **2倍** | double | **3倍** | triple/treble | **4倍** | quadruple |

例) The population of India has nearly **doubled** over the last four decades.

（インドの人口は過去４０年間で２倍近くになった）

**● 数値 ＋ foldの表現**

この表現は **[increase / rise]＋数値fold**のように副詞的に用いるか、**there is a 数値fold [increase / rise]** のように形容詞的に用います。特に5倍以上の場合はこのfoldを用いた表現が役立つので、次の例で使い方を確認しておきましょう！

・ The number of tourists **increased fivefold** in the 1990s.　**[副詞的]**

・ There was **a fivefold increase** in the number of tourists in the 1990s. **[形容詞的]**

（1990年代に観光客数は5倍増加した）

**② 比較・対照表現はこの2つをマスターしよう！**

**● 接続詞 [while / whereas] を用いた表現**

これらは対比を表す場合に用いられます。**whileは文頭、文中どちらでも可**、**whereasは文中のみで**の使用になるので使い分けに注意しましょう。

例) According to the graph, around 70% of students aged under 25 study to further their careers, **[while / whereas]** only 8% study purely out of interest.

● **副詞・前置詞を用いた表現**

・**副詞**： [In / By] [contrast / comparison] 対照的に On the other hand：一方では / Similarly： 同様に

・**前置詞**： In [comparison / contrast] [to / with] ~ ：～とは対照的に

例) The average house price in London and Paris dropped by 4% and 3% respectively from 1995 to 1998. **By contrast**, Madrid saw an increase of 6% during this period.

以上で比較・対照を表す表現のレクチャーは終了ですお疲れさまでした。グラフ問題にチャレンジする時は必ず**「比較・対照で切る箇所がないか」**という点に注目し、これらの表現を活用して描写精度を高めていきましょう！

**Step 6. 予測表現を完全マスター！**

グラフ問題で**「予測値」**が示されている場合は、それらを描写しなければいけません。**willが一般的**な表現ですが、それ以外の予測を表す2パターンのスコアアップ表現をマスターしておきましょう！

|  |  |
| --- | --- |
| **S＋ be　形容詞 ＋ to do** | **It is 形容詞 that S V.** |
| be [predicted / projected / anticipated] to do | It is [likely / expected / anticipated] that S will V. |

例) （住宅価格は2028年から2032年まで大幅に上昇すると予測されている）

● Housing prices **are likely to** increase significantly from 2028 to 2032.

● **It is likely that** housing prices **will** increase significantly from 2028 to 2032.

以上でTask 1で必要な表現に関するレクチャーは終了です。お疲れさまでした。一気に覚えるのは大変ですが、6.5以上をゲットするためには重要な表現ばかりなので、エッセイを書きながらその都度必要な表現を取り入れ少しずつ運用できるようにしていきましょう。

以上でグラフ問題を攻略するためのレクチャーは全て終了です。ここからはこれまで学んだことをフル活用して実際の問題を実際の問題にトライしましょう！